



## 中国地方整備局入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日時及び場所	令和3年1月22日（金） 14時25分～17時25分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長            近森 秀高    (大学院教授) 委 員            竹田 宣典    (大学院教授) 委 員            爲末 和政    (弁護士) 委 員            村上 恵子    (大学教授) 委 員            山田 希恵    (公認会計士)	
審議対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和2年9月30日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 (WTO対象)	1件	
一般競争入札方式 (WTO対象外)	4件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
簡易公募型プロポーザル	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 令和2年4月1日～令和2年9月30日）

【工事】

契約方式	工 事 名	工事種別	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所	備 考
一般競争 (WTO対象)	令和2年度中国四国管区警察学校生徒寮建築その他工事	建築工事	10	1,353,000	94.91%	中国地方整備局(本局)	
一般競争 (WTO以外)	令和2年度三篠川樽原地区築堤他工事	一般土木工事	1	216,590	99.91%	大田川	
	令和2年度木与防災宇田跨線橋下部工事	一般土木工事	2	330,000	93.19%	山陰西部	
	高梁川軽部排水機場運転支援装置新設外工事	機械設備工事	1	258,500	99.89%	岡山河川	
	浜田管内予備電源設備工事	受変電設備工事	4	159,500	95.98%	浜田	

【建設コンサルタント業務等】

契約方式	業 務 名	業種区分	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所	備 考
簡易公募型競争入札	苫田ダム堆砂測量外業務	測量	7	13,387	79.80%	苫田ダム	
簡易公募型プロポーザル	令和2年度中国管内東部橋梁外診断業務	土木関係建設コンサルタント業務	1 <small>(技術提案書提出者数)</small>	201,410	99.92%	中国道路メンテ	

【役務の提供等及び物品の製造等】

契約方式	件 名	業務分類	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所	備 考
一般競争	令和2年度ヘリコプター搭載型衛星通信設備改修	役務の提供等	1	298,100	99.71%	中国地方整備局(本局)	

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等の対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 8) 一者応札の発生状況 9) 不調・不落の発生状況 10) 高落札率の発生状況</p> <p>Q 1. 談合情報の対応状況について、具体的に他の入札参加者と相談してはいけないことを周知しているのか。入札参加者が間違いやすいところはピックアップして伝えるようにした方がよい。</p>	<p>A 1. 指名競争入札の場合、現場説明書に「入札心得を熟読し、遵守すること。」と記載しているが、特に初めての入札参加者に十分浸透していないと思料されるため、電子入札システムで現場説明書をダウンロードするときに入札心得も添付するようシステム改良を行った。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 浜田管内予備電源設備工事</p> <p>Q 1. 4者が入札して3者が予定価格超過になっている。機械を持ってきて据え付ける工事だが、入札価格が変動する要因はどこにあるのか。</p> <p>Q 2. 入札に参加した4者は、同種工事の実績があるということだが、仕様の変更や追加があったのか。</p> <p>Q 3. 予定価格超過の3者は、どの程度予定価格を超過していたのか。</p> <p>Q 4. 令和元年度に32台整備しているが、令和元年度の契約手続きと比較してどうだったか。今回と同じ者が入札していたり、今回と同様な入札価格のばらつきがあったのか。</p> <p>Q 5. 令和元年度も今回と同じように4者が入札したのか。</p>	<p>A 1. 明確な要因は不明だが、停電時の起動対応等特殊な製作があり、一般製品の製作工程にはない製作が占める割合が多い。そのため、各者調達できる価格で入札したことが考えられる。</p> <p>A 2. 仕様の変更や追加は行っていない。全国的に同様な工事を実施している。</p> <p>A 3. 入札調書に記載のとおり、予定価格より1000万～1500万円程度超過していた。</p> <p>A 4. 受注者は今回と別の者だが、入札価格のばらつきは資料が手元にないので不明である。</p> <p>A 5. 令和元年度は、今回の入札者の4者は重複しているが、他に3者が入札に参加していた。</p>

<p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p><b>2) 令和2年度木与防災宇田跨線橋下部工事</b></p> <p>Q 1. 3 者が入札に参加し、1 者無効、1 者辞退となっている理由は何か。</p> <p>Q 2. 入札説明書の企業の同種工事の実績に、下請企業表彰を受けた企業でも参加できているが、今回の参加者の中にそのような者はいたのか。</p> <p>Q 3. 入札説明書をダウンロードした者の中にも下請企業表彰を受けた企業の参加はなかったのか。</p> <p>Q 4. 技術的能力の審査及び総合評価に関する事項について、地域精通度・地域貢献度として1 点を加算できるようになっているが、7 0 点満点のうち1 点だと影響が小さいと思う。 この項目を加算点として設定している理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 無効となった者は、入札書提出後に当事務所発注の別工事を先に受注し技術者の配置ができなくなったためである。辞退した者は、入札書の締切までに別工事を受注し技術者の配置ができなくなったためである。</p> <p>A 2. そのような者はいなかった。</p> <p>A 3. 入札説明書をダウンロードした者までは確認していない。</p> <p>A 4. 工事内容に応じて企業を評価するようにしており、様々な評価項目との配点のバランスの中で、地域精通度・地域貢献度の加算点が1 点となった。</p>
<p><b>3) 令和2年度中国管内東部橋梁外診断業務</b></p> <p>Q 1. 一者応札かつ非営利団体である財団法人が受注している。入札価格、予定価格の妥当性はどのように判断するのか。</p> <p>Q 2. 中国地方整備局管内で、業務を遂行できる者は何者いるのか。</p> <p>Q 3. 参加可能者が多数いるにも関わらず1 者しか参加していない。原因究明や参加者が増えるような施策を検討しているのか。</p> <p>Q 4. 参加可能者数は6 7 8 者だが、実際に業務を遂行できる業者数は少ないのではないか。実際に業務を遂行できる業者数を把握すべきである。競争性を高めることで価格を抑えられるはずなので、改善を検討する必要があると考える。</p>	<p>A 1. 発注前に想定した概算金額と比較して妥当と判断した。</p> <p>A 2. 参加可能者数は6 7 8 者で、入札説明書ダウンロード者数は2 8 者である。</p> <p>A 3. 企業や配置予定技術者の同種業務の実績について、橋梁補修設計の実績を追加して参加要件を緩和している。</p> <p>A 4. 建設コンサルタント協会と意見交換をしながら、参加しやすい方法を検討していきたい。 また、本業務への参加が見送られた理由として、実施箇所が広範囲にわたる業務であることや、各事務所で実施する点検業務のスケジュールに拘束されることが挙げられる。他地整の事例として、業務を分割して発注した場合に他の業者が参加した事例があるため、更なる分割発注の</p>

<p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>可能性も考えられる。ただし、分割発注した場合においても、受注者による診断評価のバラツキを抑える必要があるため、業務の分割と品質のバランスを考えて検討していきたい。</p>
<p><b>4) 令和2年度中国四国管区警察学校生徒寮建築 その他工事</b></p> <p>Q 1. 入札額が調査基準価格以下の者は、追加資料を提出しなかったということで入札が無効となっているが、無効となった5者全者が資料を提出しなかったのか。また、何故資料を提出しなかったのか。</p> <p>Q 2. 警察学校は県警の施設だが、県が発注せずになぜ国土交通省が発注するのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 5者全者が追加資料を提出しなかった。何故提出しなかったのか明確な理由は不明だが、調査基準価格以下の入札の場合、資料を提出したとしても施工体制の加算点が付与されない。そのため、資料を提出したとしても他者に勝てないと判断したということが推測される。</p> <p>A 2. 中国四国管区（中国5県と四国4県）をまとめた施設のため、国費で整備することになっている。</p>
<p><b>5) 令和2年度三篠川樽原地区築堤他工事</b></p> <p>Q 1. 一般競争参加資格について、一般土木工事のB等級を入れて緩和したということだが、本工事の受注者の等級は何か。等級を緩和しても一者しか参加がなかった要因は何か。</p> <p>Q 2. 落札率が99.91%と高いが、予定価格が推察しやすい内容なのか。</p> <p>Q 3. 下流の工事も発注されていると思うが、複数 の入札があったのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本来の工事等級はC等級であるが、B等級も加え緩和した。本工事の受注者はC等級の者である。 一者しか参加がなかった要因は、河川内の工事 で、渡河部があり重機の出入りが煩雑になったり、渡河部の流水パイプの管理も難しかったり と全体的に難しい工事であったことが推測される。</p> <p>A 2. 工事の目的物は河川護岸の典型的なものであること、歩掛も公表されたものがあること、条件明示もきちんとしていたことから、積算しやすい工事であったと考えられる。</p> <p>A 3. 下流の工事は一般競争で発注したが不調となった。その後、不調随契にて契約締結した。</p>
<p><b>6) 高梁川軽部排水機場運転支援装置新設外工事</b></p> <p>Q 1. 1者応札であり落札率も高い。参加可能者数50者、入札説明書ダウンロード者数10者に対して入札者が1者となっている。工事の特殊性や企業のハードルになるような要素があったのか。</p>	<p>A 1. 今回受注した者は本設備の新設時に設置した者であるが、既設設備の更新も含まれていたため、設備の仕様や図面に見えないノウハウがあったのではないかと考えられる。</p>

<p>Q 2. ノウハウが必要であれば、当初施工した者しか受注できないのではないか。今回の入札方式で良かったのか。</p> <p>Q 3. 今回の工事はポンプの制御装置の更新だが、ポンプ本体も含めた更新だと参加者も多くなるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 2. 技術的にはどの者でも施工可能である。当初施工した者以外だと、手間がかかり利益を得にくいと判断したと推測される。</p> <p>一般競争が原則であるが、ノウハウが必要であったり、製作した者以外では参加しにくい場合など、一度公募の手続きを行い、参加者がいない場合は随意契約に移行する手続きを行う等、今後検討していきたい。</p> <p>A 3. 他者の参加も考えられる。</p>
<p><b>7) 苫田ダム堆砂測量外業務</b></p> <p>Q 1. 毎年実施している業務だと思うが、毎年同じ者が入札に参加しているのか。年によって受注を各者でまわしているのではないか。</p> <p>Q 2. 入札状況を見て談合の疑いはないと判断しているのか。</p> <p>Q 3. 入札価格が各者似たような状態である。毎年似たような者が参加しているのであれば、受注が持ち回りになっているのではないか。予定価格と入札価格の乖離の分析はどのようにしているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 過去5年の受注状況を見ると、今回受注した者を含め他2者が受注している。</p> <p>A 2. そのとおりである。</p> <p>A 3. 予定価格は、ほとんどの工種で公表されている標準歩掛を採用しており、標準歩掛にない工種は見積を徴取して公表しているため、精度の高い積算が可能である。</p> <p>各者とも、受注意欲があるから調査基準価格あたりを狙って入札してきていると思われ、また、総合評価方式で受注者を決定しているため談合等ができにくい制度になってきている、と考えている。</p>
<p><b>8) 令和2年度ヘリコプター搭載型衛星通信設備改修</b></p> <p>Q 1. 今回の設備は、別途購入するヘリコプターに設置するものなのか。</p> <p>Q 2. ヘリコプターの受注者と今回の受注者は別の者なのか。</p> <p>Q 3. 設置する場所はどこか。</p>	<p>A 1. 今回の設備は、ヘリコプターから送信される電波を受信する装置を地上の設備に設置するものである。</p> <p>A 2. 別の者である。</p> <p>A 3. 本省と近畿地整にある受信設備の改修と各地整のネットワークの改修を行うものである。</p>

<p>Q 4. 受注できる者は、既存システムとのマッチングから、既存設備の製作者に絞られるのではないか。</p> <p>Q 5. 全国的な設備であれば、本省が整備するべきではないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 4. 技術的にはどの者でも施工可能である。</p> <p>資料をダウンロードした者への聞き取りによれば、仕様書を確認したうえで自社での改修は困難と判断した、また、既存設備の改修であることから既存設備製作者に価格面で勝てない、という声があった。</p> <p>技術的に実施可能な者が複数いるのであれば、随意契約で手続きを行うことはできないため一般競争に付した。</p> <p>A 5. 各地整のヘリコプターの仕様が異なり、各ヘリコプター特有の通信が行われるため、各地整独自の受信装置を設置する必要があるので、各地整で設備の改修を行っている。</p>
<p>(3) 再苦情処理の審議・報告</p>	
<p>該当事案なし</p>	
<p>(4) その他</p>	
<p>Q 1. コロナ関係の対策費の費用負担に関し、工事費への費用計上等何か考慮しているのか。</p>	<p>A 1. コロナによって、工事中止を行ったり、3密対策が必要になったもの等の増加費用については、精算時に見込むこととしている。</p>